

国際研究集会援助 会議開催報告書

記入日 20XX 年 4 月 1 日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属機関の名称は、大学院の
研究科、研究所まで記載
※申請時から変更がある場合は
下行に申請当時の機関名称を
() 書きのこと

所属機関・職名 ○○○大学大学院△△△研究科 教授
(申請時：□□□大学▽▽学科 准教授)

申請者 財団 太郎 (印)

貴財団による国際研究集会援助について、下記の通り会議の開催結果を報告します。

※各記入欄は、字数制限がある場合はそれを超えない範囲で行数を増減のこと
フォントは、MS明朝、英文・Century 10pt (会議名のみ12pt)

会議名： ※太字12ptで記入
(英語) ※英文も併記

申請者： 財団 太郎 ※太字
(英語) Taro Zaidan ※姓はすべて大文字

所属機関・職名： ○○○大学大学院△△△研究科 教授 ※太字
(英語) Professor, Graduate school of …… ○○○University

開催期間： 20XX年4月15日～20XX年4月18日(4日間)

会場： ▲▲大学 講堂

参加人数： 日本人 50人、外国人 150人

参加国： アメリカ、イギリス、中国

主催： ●●組織委員会

共催・後援： 公益社団法人■●学会、▲▲大学

Summary：(英文200字以内)

開催概要：(和文2,000字程度)

※書式に関する留意事項

a. 段落

段落先頭は一字下げ

b. 句読点

文末に打つ句点は「。」、文中に打つ読点は原則として「、」で表記
ただし、本文中あるいは尾注において外国語、外国文献等を記載する場合は読
点の代わりにコンマ(,)を使用

c. 参考文献等

(1), (2), (3)…として記載

以上

20XX年度 国際研究集会援助 会計報告書

記入日 20XX年 4月 1日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属・職名 ○○大学大学院△△研究科 教授

氏 名 財団 太郎 (印)

会計報告は下記のとおりです。

記

1. 会議名	第43回●●国際会議
2. 援助金額	当財団からの援助金額 50万円
3. 会計報告	支出実績額合計 605万円

※内訳は別紙のとおり

※使途内訳より自動入力
「2. 援助金額」を下回った場合
差額分は精算となるので要注意

【記入に関する注意事項】

- ①上記支出実績額合計と当財団からの援助金額とに余剰金が生じた場合は、当財団の指定口座に変換するものとする。（振込手数料は助成者負担）
- ②次頁（別紙）のとおり、申請時に提出した使途内訳（予算額）に実績額を記入し、本報告書に添えて提出する。

(別紙)

20XX 年度 国際研究集会援助 会計報告書

使途内訳

使途別に具体的に記入のこと (単位: 円)

本表の内容を含む計算書等であれば、報告形式は自由

会議開催にかかる総経費の内訳報告でも可

会議名:

第43回●●国際会議

収入の部

収入区分	収入予算額	収入実績額	備考
①鹿島学術振興財団援助金	500,000	500,000	
②参加会費	3,000,000	3,750,000	
③補助金・協賛金	2,000,000	1,500,000	〇〇協会
		300,000	〇〇財団
合 計	5,500,000円	6,050,000円	

※上記科目は適宜修正し使用して可

支出の部

支出区分	支出予算額	支出実績額	当財団 援助金	備考
会場費(〇〇大学△△ホール)	1,000,000	1,300,000		
招待者旅費	1,200,000	1,250,000	〇	一部充当
謝金	1,000,000	1,200,000		招待講演者謝礼等
人件費	1,000,000	900,000		
印刷製本費	500,000	450,000	〇	一部充当
消耗品費・通信費	800,000	920,000		
余剰金		30,000		次回開催へ繰越
合 計	5,500,000円	6,050,000円	収入差額 0円	

余剰金が発生した場合、収入実績額との差額が0円になるよう余剰金等も記入

(うち当財団援助金からの支出額 1,700,000円)

例) 会議資料作成費、会議報告書作成費 等 実情に合わせて記入